

令和6年度研究科入学者選抜試験問題(第3次募集)出題意図
《医学系研究科 看護学専攻 博士後期課程》

外国語(英語)

出題意図

医療・看護学分野の英文を読み、英文法を十分理解し、正確な読解力と大意を把握する能力など看護学専攻大学院生として必要な英論文の読解と作成する能力および基礎的学力の程度を確認することを意図として出題した。

解答例

問1 「昼寝と夜間の睡眠のどちらが子どもの適切な認知発達に寄与するのか」と「適切な知的発達が単に毎日の総睡眠時間に依存するのか」の2つの仮説の事

問2 すでに幼児の基本的な睡眠構造が確立されると報告されている 1.5 歳前後の発達初期に着目し、私たちは、どの睡眠変数、例えば昼寝、夜間睡眠、総睡眠時間が早産児の認知発達に寄与しているかを調べるために、早産児の認知発達に対する睡眠の成熟の影響を調べました。

問3 早産児の認知発達検査の DQ スコアと有意に相関しているのは、睡眠調節変数である起床時間の日変動のみであるという知見

問4 睡眠変数では、女兒は起床時間の日変動が有意に少なく、睡眠効率が高く、昼寝開始時間が遅くなっており、これは、以前に説明したように、幼児の皮質機能に関連するより成熟した睡眠調節メカニズムを反映している可能性があります。